

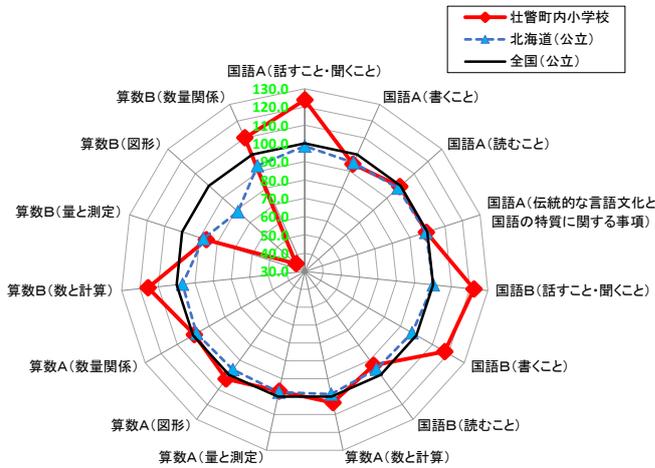
■ 壮瞥町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:21人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものです。

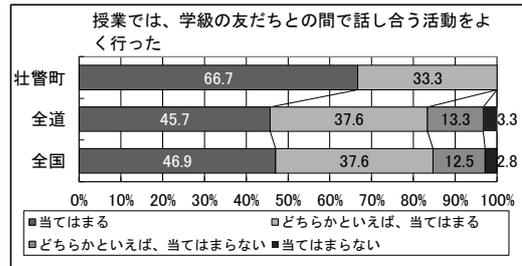
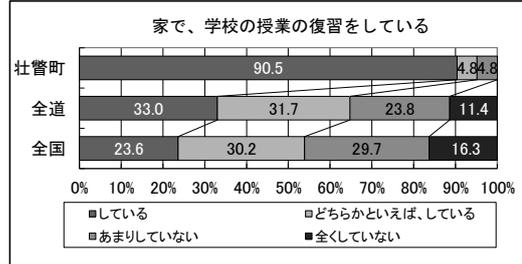
※すべての学校が後日実施のため、目安として示しています。

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

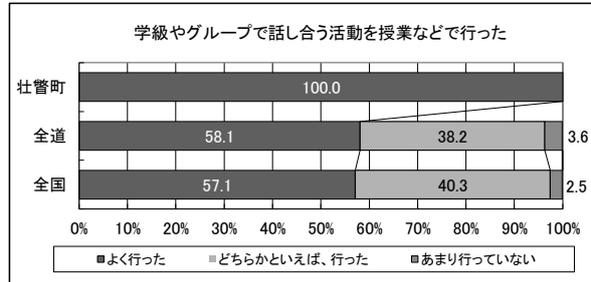
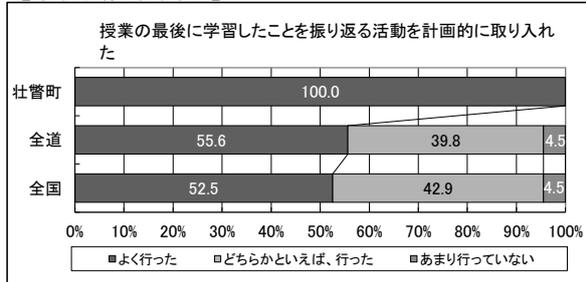


※壮瞥町内小学校の状況等については、天候の影響により後日実施した2校の調査結果を示しているため、他の市町村ページと掲載内容が異なります。

【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・Bでは、「話すこと・聞くこと」が他の領域より高くなっている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」、「図形」が他の領域より高くなっている。 ○ 算数Bでは、「数と計算」、「数量関係」が他の領域より高くなっている。 <p>※ すべての学校が後日実施のため、全国の平均正答率との差ではなく、領域別の状況を分析しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内研修コーディネーターの適切な指導助言により、授業の最後の振り返る活動が計画的に行われ、家庭でも学習を振り返るようになるなど、家庭学習の習慣化が図られたと考えられる。 ○ 各学校において、目的意識を明確にし、話し合う活動を授業で行ったことにより、児童の言語意識が高まり、特に、国語A・Bの「話すこと・聞くこと」の領域で、学習内容の定着が図られたと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業では、学級の友だちとの間で話し合う活動をよく行った」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答している。 ○ すべての学校が、「学級やグループで話し合う活動を授業などでよく行った」と回答している。 	

【壮瞥町の学力向上策】

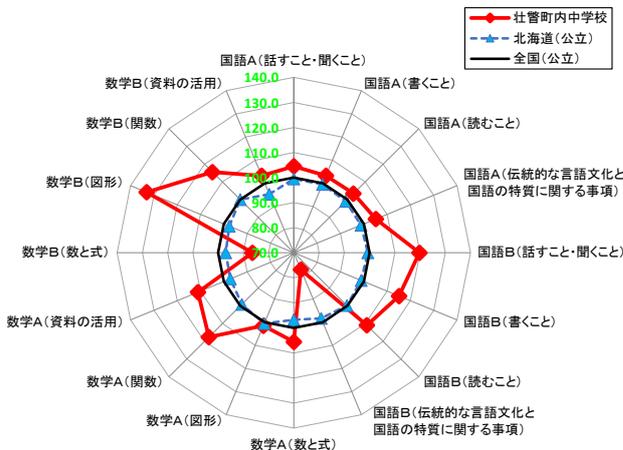
- ◎ 校内研修コーディネーターを活用した指導環境の充実と授業力向上に向けた取組
- ◎ チャレンジテストの活用や長期休業中のサポート学習等による基礎学力の定着に向けた取組の継続
- ◎ 生活リズムチェックシート及び家庭学習の手引き等を活用した基本的な生活習慣の確立、家庭学習の習慣化に向けた保護者の協力による取組の推進
- ◎ TTや習熟度別、少人数指導の実施や実物投影機等のICT機器の効果的な活用による個に応じたきめ細かな指導の継続
- ◎ そうべつ型学校評価システムによる全小・中学校共通の目標に基づく教育活動の推進

■ 壮瞥町内中学校の状況及び学力向上策 (学校数: 1校、生徒数: 26人)

【教科全体の状況】

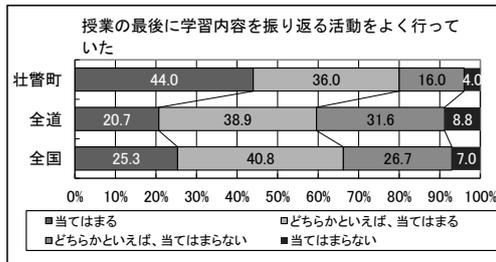
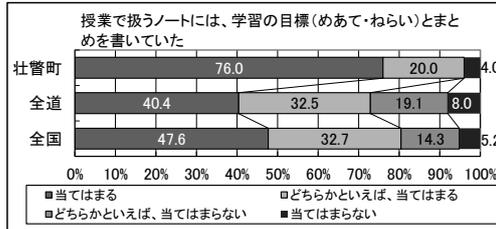
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを

※すべての学校が後日実施のため、目安として示しています。
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

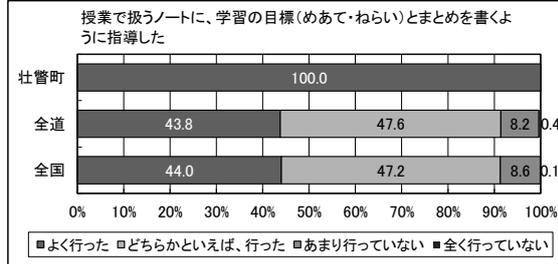
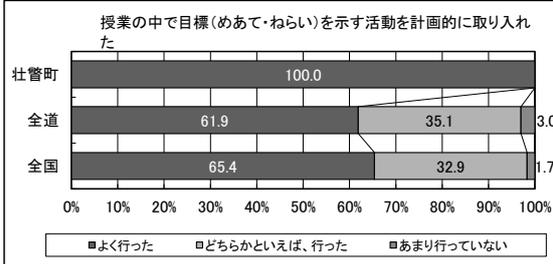


※壮瞥町内中学校の状況等については、天候の影響により後日実施した1校の調査結果を示しているため、他の市町村ページと掲載内容が異なります。

【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が他の領域より高くなっている。 ○ 国語Bでは、「話すこと・聞くこと」が他の領域より高くなっている。 ○ 数学Aでは、「関数」が他の領域より高くなっている。 ○ 数学Bでは、「図形」が他の領域より高くなっている。 <p>※ すべての学校が後日実施のため、全国の平均正答率との差ではなく、領域別の状況を分析しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業において、目標やまとめを示すことについて共通理解を図り、各学校で組織的に取り組んだことにより、生徒が目的意識をもって、主体的に学習に取り組むようになったと考えられる。 ○ 各学校の授業において、生徒のノートに、目標やまとめを書くように指導したことにより、学習内容の定着が図られたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた」と回答している。 ○ すべての学校が、「授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導した」と回答している。 	

【壮瞥町の学力向上策】

- ◎ 校内研修コーディネーターを活用した指導環境の充実と授業力向上に向けた取組
- ◎ チャレンジテストの活用や長期休業中のサポート学習等による基礎学力の定着に向けた取組の継続
- ◎ 生活リズムチェックシート及び家庭学習の手引き等を活用した基本的な生活習慣の確立、家庭学習の習慣化に向けた保護者の協力による取組の推進
- ◎ TTや習熟度別、少人数指導の実施や実物投影機等のICT機器の効果的な活用による個に応じたきめ細かな指導の継続
- ◎ そうべつ型学校評価システムによる全小・中学校共通の目標に基づく教育活動の推進